



REPORT

編集・発行／一般財団法人
大阪国際児童文学振興財団
〒577-0011
東大阪市荒本北1-2-1 大阪府立中央図書館内
TEL 06(6744)0581 FAX 06(6744)0582

<http://www.iiclo.or.jp/>

維持と発展

理事長 宮川健郎

理事長として二回目の任期の二
め、最初に就任してから四年めをむ
かえました。

ことし(二〇一八年)七月一日の理
事会では、常務理事(業務執行理事)・
事務局長を長くつとめた北田彰氏の
退任により、後任に前柏原市教育長
の吉原孝氏を迎えました。

北田氏は、二〇〇七年から常務理
事、二〇〇九年に理事を経て、私ど
も財団が新しいかたちでスタート
した二〇一〇年から常務理事の仕事
をしてきましたから、北田氏の退任
は、この財団の歴史の大きな区切り
になりました。

二〇一〇年四月二日付の「財団の新
しいスタートに際して(ご挨拶)」と
いう文書は、三宅興子理事長、北田
彰常務理事、竹内一江総務課主任、
土居安子主任専門員(当時)の連名
で発表されたものですが、つぎのよ
うにあります。

「私も財団法人大阪国際児童文
学館は、本日から体制を新たに、
再スタートをいたしました。これま
で、皆様方には、児童文学館はど
なるのだろう、財団はどうなるのか
と大変なご心配をおかけいたしまし
た。多くの温かい激励とご支援をい
ただき、こうして新しい環境のもと
で新しい航海に出発できますことは
感慨深いものがあります。」(財団の
名称は当時)

つづけて、「財団は、これからも子
どもの本・子ども文化の振興をめざ



して活動を続けてまいります。」「こ
れまで実施してまいりました諸事業
の再構築を図り、大阪府とも各種の
事業等を通じて連携・協力を進めま
すとともに、関係諸団体皆様の一層
のご協力を得まして、新規事業にも
前向きに取り組んでいきたいと考え
ております。」とも書かれています。

先の理事会では、昨年度(二〇一七
年度)の事業報告もありましたが、
講座、講演会等を通じた子どもの本
の普及活動、子どもの本の文化に親
しむ機会の提供、教材開発を通じた
子どもの読書活動の推進、子ども
の本を通じた国際交流事業、国際児童
文学研究賞(国際グリム賞)事業、
大阪府子ども読書活動推進施策への
協力、研究及び出版等の企画事業、
児童文学等に関する資料の収集など
の様々が展開しています。

「財団の新しいスタートに際して」
には、「私も財団は、あたかも荒海
に漕ぎ出だす小船ではあります。が、
……」とも記されていました。小船
が漕ぎ出してから八年あまり、何と
か転覆せずに航海をつづけてしまし
た。今後、財団のこの状況を手堅く
維持していくことに心をくだきつ、
人材や資金をふやして発展する道を
模索する必要があるのだと思います。
皆様のいっそうのご支援、ご指導を
賜りますようお願い申し上げます。

第16回国際グリム賞 ロバート・シーリング! トライツ氏が受賞

国際グリム賞は一般財団法人
金蘭会および大阪府立大手前高
等学校同窓会金蘭会との共催で、
国際的分野で児童文学界に貢献
した研究者に対し、隔年で贈られ
る賞です。

第16回の29年度は、アメリカ・イ
リノイ州立大学のロバート・シー
リング・トライツ博士が受賞され、
授賞式と記念講演会を行いました。

■日 時:平成29年10月1日(日)
14時~17時

■場 所:国民會館武藤記念ホール
受賞者:ロバート・シーリング!
トライツ博士(米国)

■演 題:児童文学をよむ「ジェ
ンダー・パワー、ケアの
倫理の視点から

■通 訳:松下宏子さん
(関西大学ほか非常勤講師)

■参加者:87人
(授賞理由)

ロバート・シーリング・トライツ
博士は、国際的な児童文学、特に
思春期文学の優れた研究者であり、
米国・イリノイ州立大学の特別教
授です。主要著書には「ねむり姫が
めざめるとき フェミニズム理論
で児童文学を読む」(1997)、「
宇宙をかきみだす 思春期文学
を読みとく」(2000)、「思春期
文学における成長の文学概念化:
思春期文学におけるメタファーと
認知」(2014)などがあり、思春
期文学研究センター研究、歴史
的視野からの文学研究を理論的な
アプローチによって行い、児童文
学研究の分野を開拓してきました。
また、2000年~2004年
にはアメリカ児童文学協会の機

関誌「季刊児童文学協会誌」の編
集長を務め、2006年~
2007年には会長を務めまし
た。加えて、大学で多くの博士課
程の学生を指導し続けています。
子どもの本の普及についても力
を入れており、児童文学に関わる
多方面の活動は、国際グリム賞に
ふさわしい研究者と云うことが
できます。

〈講演の概要〉

トライツ博士はまず、自著を紹介
しながら、これまでの研究成果をま
とめ、次に「ジェンダーとパワーと
ケアの倫理を用いてハンス・クリ
スチャン・アンデルセンの「入魚姫」
と、ウォルト・ディズニーの映画「リ
トル・マーメイド」と宮崎駿監督の
「崖の上のポニョ」という三つの「入
魚姫」の物語を比較されました。そ
して、「崖の上のポニョ」がケアの倫
理を描いていると結論づけました。
そして最後に近刊予定の児童文学
と「思春期文学」に見られる21世紀の
多様なフェミニズム思想の内容を
ご紹介されました。



タンザニアの絵本作家 ジョン・キラカさん来日

アフリカ・タンザニアの絵本作家ジョン・キラカさんを招聘し、国際講演会と子ども向け絵本づくりワークショップを開催しました。タンザニアでのストーリーテリングの伝統やティンガティンガアートという絵の手法についてお話くださいました。



▲国際講演会▼

「タンザニアの絵本作家ジョン・キラカ 自作を語る「バオバブの木の下で」」

■開催日：平成29年7月29日（土）

■場所：大阪府立中央図書館

■通訳：松下宏子さん（関西大学ほか非常勤講師）

■参加者：83人

▲ワークショップ▼

「タンザニアの絵本作家ジョン・キラカさんと絵本をつくらう！」

■開催日：平成29年7月30日（日）

■場所：大阪府立中央図書館

■通訳：土居安子（当財団総括専門員）

■参加者：小学生25人

■主催：当財団、大阪府立中央図書館

■協賛：サントリーホールディングス株式会社、パナソニック株式会社、株式会社富士通システムズアプリケーション&サポート、ム

サシ・アイ・テクノ株式会社
○報告集を販売しています（1200円・税別）。

連続講座 「アメリカと日本の子どもの本 —その関係をさぐる—」

第二次世界大戦以後、アメリカ合衆国との関係は日本社会全体に大きな影響を与え続けてきました。子ども本の世界も例外ではありません。この講座では、日本がアメリカの子ども本をいかに受け入れてきたのかを3つの観点から考えました。それによって、アメリカの子ども本の日本の受容の偏りに気づき、現代の子ども本のありようを見直すことができました。



◆第1回 平成29年5月27日（土）

「アメリカの児童書の歴史・アメリカから贈られた子ども本から考える」

◆第2回 平成29年6月24日（土）

「アメリカから日本へ絵本がやってきた：岩波の子どもの本と「世界傑作絵本シリーズ」」

◆第3回 平成29年7月22日（土）

「ちびくろサンボ」がたどってきた道：イギリス・アメリカ・日本

■場所：大阪府立中央図書館

■講師：三宅興子（当財団特別顧問、梅花女子大学名誉教授）

■参加者：のべ169人

■主催：当財団

*子どもゆめ基金助成活動

○報告集を販売しています（1200円・税別）。

講演会 「ドイツの子どもの本の魅力 —フッシュ・エンデから現在まで—」

日本の代表的なドイツ児童文学翻訳者である上田真而子さんが、当財団に、これまで翻訳した本の貴重な原書を寄贈されました。それを記念して、ドイツの児童書の受容の歴史を振り返り、ドイツ児童文学の状況、および未来について考える講演会を上田真而子さん、酒寄進一さんをお招きして行いました。

■開催日：平成29年11月12日（日）

■場所：大阪府立中央図書館

■講師：上田真而子（ドイツ語翻訳家、酒寄進一（和光大学教授、ドイツ語翻訳家）

■参加者：101人

■主催：当財団

■後援：大阪府立中央図書館

*子どもゆめ基金助成活動

○報告集を販売しています（800円・税別）。



*大阪府立中央図書館国際児童文学館では、「展覧会」ドイツの子どもの本の魅力—翻訳者 上田真而子の仕事—が行われ（平成29年11月10日（金）〜12月28日（木））、資料の選定や解説の執筆など、当財団が協力しました。

国際アンデルセン賞の 国際選考委員に就任

当財団理事で日本国際児童図書

評議会（JBBY）理事の土居安子総括専門員が、国際児童図書評議会（IBBY：本部スイス）が行う2018年国際アンデルセン賞の選考委員に就任し、1月にスイス・バーゼルで行われた選考委員会に参加しました。

「国際アンデルセン賞」は、2年に一度、子どもの本の世界に貢献した作家及び作家を対象に贈られる賞で、受賞者を決定する選考委員会は、ロシア、スペイン、エジプト、アルゼンチンなど世界各国の10人で構成されています。3月には、イタリア・ボローニャブックフェアで行われた受賞者発表に参加しました。

のりものだいすき おはなしいすき

貸切モノレールの中で絵本やおはなしを楽しみ、彩都西の会場で人形劇を観る「おはなしモノレール」を実施しました。平成29年度で11回目となります。

■開催日：平成29年9月16日（土）

■定員：240人

■出演：職員、おはなしポップ、人形劇サークルばれっと等

■協賛：大阪高速鉄道株式会社、阪急不動産株式会社

*子どもゆめ基金助成事業



目録 童話と絵本のグランプリ

アマチュア作家を対象にした創作童話と絵本のコンクール「第34回日産童話と絵本のグランプリ」を実施しました。審査の結果、入賞作品37編を決定しました。

○応募数 童話の部2508点、

絵本の部485点 計2993点

○童話の部 大賞

「ぶらぶらママ」

小路 智子さん

絵本の部 大賞

「くまのアーリーとあかいぼつし」

わたあいさん

○表彰式 平成29年3月4日（土）

大阪府立中央図書館ライティホール

協賛：日産自動車株式会社

また、第33回童話の部大賞および

絵本の部大賞作品をB1出版から平成29年12月に出版しました。

童話の部「こめぎゆつれいのよねごさん」



えばた えり/作
小林 ゆたか/絵

絵本の部「ぎゅつ」



ミフサマ/作

子どもに本を 手渡す人のために

講座への講師派遣

子どもの読書活動にかかわるボランティア、司書、学校司書、教員、保護者や子どもに本に関心のある人等を対象とした、本の選び方や読書活動のあり方に関する研修や、本の楽しさを伝える講座、講演会、読書会の講師として、総括専門員、特別専門員を派遣しました。

・実施回数：44回

審査員・委員など

左記の事業に、審査員や委員として参加しました。

第13回大阪子ども本の帯創作コンクール

第27回賞面手づくり紙芝居コンクール審査員(箕面市教育委員会、人と本を紡ぐ会)

平成29年度「心の輪を広げる体験作文」審査(大阪府福祉部)

第36回入権啓発詩・読書感想文審査会(大阪府民文化部)

「コープのえほんでスマイル」専門委員会(大阪いずみ市民生活協同組合)

子どもたちに おはなしの楽しさを

大阪府立中央図書館との連携

大阪府立中央図書館「こども資料室」でおはなし会8回、人形劇1回を開催しました。

出 演：職員、おはなしポップ、人形劇サークルぱれっと

小学校や図書館でのおはなし会 やワークショップ

吹田市立山田駅前図書館でのおはなし会(2回)

出 演：職員、おはなしポップ
豊中市立東丘小学校等での小学生を対象とした、物語体験ワークショップ(4回)

児童養護施設でのおはなし会

大阪府域の児童養護施設でおはなし会を開催しました。

おはなし会1回

出 演：おはなしポップ

「韓中日子ども童話交流2017」に参加し、日本、中国、韓国の子どもたちと一緒に絵本作りをしました。

開催日：平成29年8月17日(木)～23日(水)

場 所：ソウル、済州(韓国)

参加者：100名

主 催：日中韓子ども童話交流実行委員会

「おはなしポップ」と「人形劇サークルぱれっと」の財団事業への参画

子どもと本をつなぐさまざまな事業に当財団所属のボランティアグループに参画していただきました。

また、「おはなしポップ」は、絵本やおはなしに関する研修を3回、「ぱれっと」は講師を招いた研修を1回行いました。



街頭紙芝居の実演

「むかしの紙芝居を楽しもう」

開催日：平成29年9月2日(土)

場 所：大阪府立中央図書館

出 演：一般社団法人 塩崎おとぎ紙芝居博物館



主 催：大阪府立中央図書館 国際児童文学館、当財団

協 力：一般社団法人 塩崎おとぎ紙芝居博物館



マンガのひみつ大冒険!

平成28年度に開設した「マンガのひみつ大冒険!」は、子どもと子どもに読書をすすめる大人を対象に、マンガを通して読書の楽しさや広がり、インターネットで検索したり、遊んだり、体験しながら知ることのできる読書活動支援ソフトです。

協力：株式会社ジャステイス

4月には、開設を記念し、サイトに掲載のマンガの中から国際児童文学館所蔵作品の展示をしました。

開催日：平成29年4月1日(土)～6月28日(水)

場 所：大阪府立中央図書館

共 催：大阪府立中央図書館 国際児童文学館

△子ども向け関連イベント▽
おはなし会&キャラリートーク
開催日：平成29年5月31日(水)



ほんナビきつずく

子どもの本をあらすじ、キーワードから探す

「ほんナビきつずく」はインターネットで楽しく遊びながら、ことばや感情を選ぶことによってお気に入りの本に出会うシステムです。

キーワード、あらすじは当財団で独自に作成。29年度は1173冊の本を追加しました。

共同開発：株式会社富士通システム
スアプリケーション&サポート

ドキドキ絵本(for Kids)

平成25年度に開設した、インターネットを見ながら絵本の作り方を体験することができるウェブ 사이트「ドキドキ絵本づくり for Kids」について、チラシの配布や、ワークショップ等を通して普及を行うと同時に、子ども作品のアップロードを行いました。

本の海大冒険の充実

平成26年度にリニューアルしたインターネットで読みたい本が探せるサイト「本の海大冒険」に新刊図書データを追加し、いっそうの充実を図りました。

協力：株式会社ジャステイス



ツイッターを始めました

平成29年7月からツイッターを始めました。日々、いろいろな情報を発信していきます。フォローしてください。
https://twitter.com/CLO_News

内容
もりだくさん!
メルマガ発行、
ぜひ会員登録を

毎月メルマガガジンを発行しています。発行は、月1回、毎月20日に配信しています。登録は無料です。皆さまの登録をお待ちしています。

平成30年7月20日現在、登録数は2677人です。内容例は左記のとおり。

1 お知らせ

財団からのお知らせコーナー

2 コラム

(1) 新刊書の紹介

専門職員が理事長、児童文学者と毎月一冊の本を選んで対談します。本に対する新しい見方が発見できます。

(2) 児童文学作家や作品についてのエッセイ

宮沢賢治作品などについて興味深いポイントや、理事長と専門職員が交互に紹介します。

(3) 読書活動ボランティアのためのワンポイント

読書活動を行っているボランティアさんのための連続講座「絵本の選び方、読み方など、基本的なポイントを説明しています。」

(4) 行って来ました!

展覧会や映画、講演会など、子どもの文化に関わる催しのレポート

3 全国のイベント紹介

他団体等が実施するイベントを紹介

4 プレゼント

今号でとりあげた本やイベントグッズを抽選でプレゼントします。

子ども読書活動の推進のために

●大阪府子ども読書活動推進施策への協力

大阪府が推進する「第3次子ども読書活動推進計画」に基づき、子ども読書活動に関わる他の団体・組織とともに、府内の子ども読書活動推進のため、「読書活動推進ネットワークフォーラム」事業企画運営委員会「および「図書館資源を活用した困難地域等における読書・学習機会提供事業ブックリスト編纂委員会」に委員として参加しました。(4回)

共同研究を行いました

●大正期における児童出版文化史の研究―実業之日本社の果たした役割―

大正期の児童出版文化についての調査研究を外部研究者とともに行いました。

- ・研究会の開催(3回)
 - ・研究メンバー：浅岡靖央(白百合女子大学教授)、香川雅信(兵庫県立歴史博物館学芸課長)、柿本真代(仁愛大学講師)、酒井昂代(愛知淑徳大学教授)、松本育子(刈谷市美術館館長代理)、日黒強(神戸大学准教授)、宮川健郎(当財団理事長、武蔵野大学教授、遠藤純(当財団特別専門員)／京都華頂大学准教授)、小松聡子(当財団特別専門員)、土居安子(当財団総括専門員・研究代表者)
- *独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(C)平成29～31年度

●昭和期日本における幻灯(スライド)文化の復興と独自の発展に関する研究

昭和期のスライド文化についての調査研究を外部研究者とともに行いました。
・レクチャーと上映「昭和期の映像文化と幻灯(スライド)」(平成29年7月1日 主催：日本児童文学学会関西例会、当財団於：大阪府立中央図書館)

- ・研究メンバー：アンニー(日本映画大学特任教授)、岡田秀則(東京国立近代美術館研究員)、紙屋牧子(東京国立近代美術館研究員)、鳥羽耕史(早稲田大学文学学術院教授)、吉原ゆかり(筑波大学准教授)、土居安子(当財団総括専門員)、鷲谷花(当財団特別専門員・研究代表者)
- *独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(C)平成27～29年度

論文集

「大阪国際児童文学振興財団研究紀要」第31号の発行

今号も、大阪府立中央図書館国際児童文学館の資料を活用した研究論文を公募しました。3編の応募があり、1編を採用しました。

目次
明治後半期における文士の社会的地位をめぐるポリテクス―巖谷小波の文士優遇論に着目して―

- 目黒 強 雑誌「少年」(時事新報社) 細目(二)
- 遠藤 純 「日本少年」創刊号に見られる実業之日本社の少年雑誌戦略―他誌との比較を通して―

土居 安子
〈国際プリム賞授賞記念講演〉
Gender Power and the Ethics of Care

Roberta Seelinger Trites
「児童文学をよむ―ジエンダー、パワー、ケアの倫理の視点から―」
ロバータ・シーリング・トライツ
翻訳：松下宏子

出版や展示の企画を行いました

貴重な資料の複製や作家選集、論文集など児童文学・児童文化に関する各種出版事業の相談に応じています。

- 「進研ゼミ電子図書館まなびライブラリー」
株式会社ベネッセコーポレーションから受託し、選書の支援を行いました。
- 「出版社等による企画協力業務の受託(コピーのえほんでスマイル)」
大阪いずみ市民生活協同組合から受託し、絵本選定、ガイドブック原稿作成を行いました。

資料を販売しています

●財団発行資料

- ・「報告集」連続講座「アメリカと日本の子どもの本―その関係をさぐる―」(三毛興子) 12000円
- ・「報告集」ドイツの子どもの本の魅力―ブッシュ、エンデから現在まで―(上田真由子、酒寄進一) 8000円
- ・「2017年度国際文化交流事業報告集」国際講演会「タンザニアの絵本作家ジョン・キラカ自作を語る―バオバブの木の下で―」子ども向け絵本づくりワークショップ」 12000円
- ・「2016年度国際文化交流事業報告集」国際フォーラム「いま、アメリカの子どもの本を考える」 10000円
- ・「2015年度国際文化交流事業報告集(エミリー・グラヴエット)」 10000円
- ・「2013年度国際文化交流事業報告集(ローレン・チャイルド)」 10000円
- ・「2012年度国際文化交流事業報告集(ツイヴィッド・ウィズナー)」 10000円
- ・「2011年度国際文化交流事業報告集(シヨン・タン)」 10000円
- ・「2010年度国際文化交流事業報告集(中国語圏の絵本の現在)」 5000円
- ・「フォーラム報告集「児童文学とは何かを問い続けて―児童文学者鳥越信の仕事を顧みる」」 10000円
- ・「フォーラム報告集「子どもの文学と文化を問い続けて―児童文学者中川正文の仕事を顧みる」」 14000円
- ・「国際児童文学館紀要」1号～26号 10000円～19000円
- ・「大阪国際児童文学振興財団研究紀要」27号～31号 13000円～14000円

資料のご寄贈をありがとうございました

今年度も出版社、作家、研究者同人誌サークルなどから、児童書や児童書に関する資料などの寄贈をいただきました。これらの資料は、永久保存および一般の利用に供するため、大阪府立中央図書館国際児童文学館に引き継ぎました。

(「)寄贈いただいた方々のお名前は別紙をご覧ください)

図 書 2,941冊
雑 誌 3,595冊
その他資料 1,388点
計 7,924点

寄付金募集のお願い!

当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからの寄付を募っています。ご協力を願います。

- ◆ゆうちょ銀行振替口座に払い込みください。
 - 口座番号
009101082820908
 - 加入者名
一般財団法人大阪国際児童文学振興財団
- ※他の金融機関からの振込の場合
店名：〇九九店(セロキウキウ店) / 店番：099 / 預金種目：当座 / □口座番号：02820908

◆平成29年度は、153件
1,583,763円の寄付をいただきました。ありがとうございました。ご寄付いただいた方々のお名前は別紙をご覧ください)

編集後記

「大阪国際児童文学振興財団レポート」第8号をお届けいたします。当レポートでは、平成29年度に実施しました主な事業を掲載しています。公式の事業報告、決算報告はホームページで公開しています。

図書資料の寄贈・寄付金・各種の事業協力など、皆さまからの支援・ご協力で深く感謝いたします。引き続き皆さまからのご支援をお願い申し上げますとともに、当財団の運営について、忌憚のないご意見をお願い申し上げます。